

150点の力作に心豊か

幸手商店など30カ所 あすまで

芸術に触れながら街歩きを楽しむイベント「アートさんぽ展」が8日まで、幸手市の幸手駅東側の商店街を中心に開かれている。商店など30カ所に、小学生在が手がけた絵画や工芸など約150点を展示。子どもたちの感性豊かな作品が来店客に喜ばれている。

(橋本浩佑)

同展は「人と町をアートがつなぐ」を目標に掲げて2017年に始まった。今回は子どもたちの作品を地域社会に店を選び、商品やサービスから想像を膨らませて創作。作トリエで芸術教育を実践している「学びっ人村」(小林晃)なっている。



展示する店をイメージして創作した子どもたちの作品
＝5日午後、幸手市中のならいち

文房具も扱っている書店「ならいち」では、ノートと鉛筆、消しゴムを組み合わせたオブジェ、魔法の本を扱った書店を描いた絵画、不思議な世界を表現した絵本など8作品を展示している。「私も絵

を描くのが好きなので、子どもたちの作品に感化された。展示を目当てに遠くから来てくれるお客さんもいて、うれしい」と店長の奈良晶子さん(61)。

茨城県土浦市から来店した女性(66)は「子どもたちの発想が面白い。かわいらしい作品があると、お店の雰囲気と普段とは違った感じになる」と感心していた。

展示の問い合わせは、学びっ人村(☎04800・44・13110)へ。